

社会福祉  
法人 豊中市社会福祉協議会

1996年(平成8年)11月29日

第24号

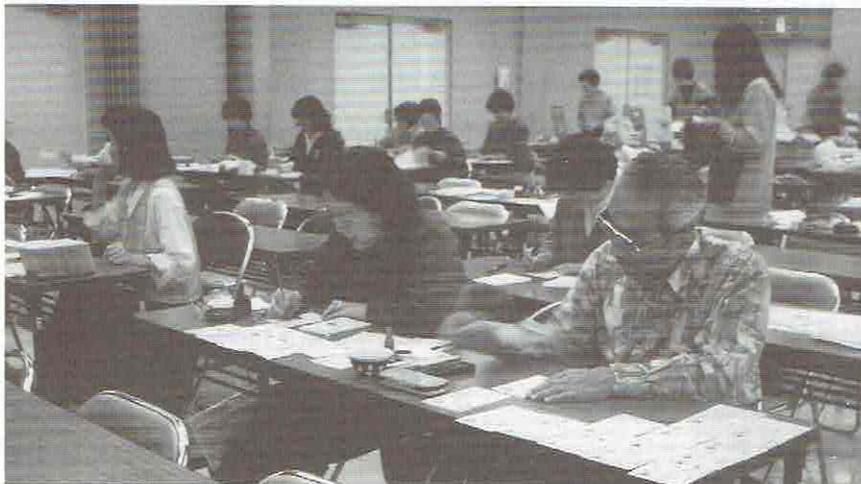
発行

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560豊中市中桜塚2-28-7 ☎(848)1000

# ボランティアセンターだより



秋の色も深くなった11月15日から11月25日のうちの4日間、のべ98名のボランティアが、市内で「ひとり暮らし」をされている65歳以上の方たち3600余人に、年賀状を届けるため、朝から熱心に作業されていました。

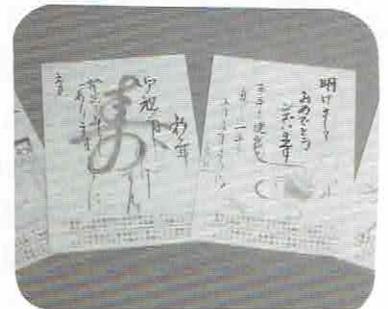
毎年、年賀状を受け取られた方

々が、感謝とお礼をセンターに寄せて下さるなど、多くの方が、大変喜んでおられます。新しい年を共に喜び、健康と幸せを願う、そんな心のこもった年賀状だからこそ、手にした時、本当に嬉しく感じられるのではないのでしょうか。

(T. D)

— 年賀状ボランティア —

元旦の朝に  
あたたかい気持ちを配達



今年も力作ぞろい

ボランティア活動を始めて八年余り、色々な局面と色々な出会いを経験した。そして、今になって考えられることは、ボランティア活動は共益者と受益者に分かれるものではなく、単に当事者同志であり、常に共益、受益が目まぐるしく転換されながら形成され、流れていくものではないかと思う。

ボランティアの有償・無償論議も聞こえて久しい。当初から同一リンクで話す問題ではないのではと考えていた。

ご近所や町内の助け合いなら当然というお互いさまの感覚と、戦前まであった口入れ屋を通じて、求められた所に派遣し庶民生活の円滑化を図っていた有職者達。これは長い歴史の中でどちらも受け継がれてきたものであろう。善意は善意、職業は職業と判然と区別し、行いつないでいくべき道だと思うし、不可侵の関係を維持すべきと思う。ただ、有償ボラ

ンティアなどという不可解な呼称は避けてほしい。

高齢一途の我が家で、年金医療負担について報ぜられない日はない。しかし、日々発生し、増加もしていく介護・介助の仕事を利益化された福祉〇〇士、〇〇ヘルパー、民間有償団体のみで乗り切るのは至難ではないか。阪神大震災でのボランティアパワーが一過性のものとは言いきることはできないだろう。各地に点在する隠れたボランティア組織は多いはずだ。援助を求めるのも一法、ただし自発的活動を旗印としているチームなら行政主導は好まぬはず、三顧の礼も必要かも。この辺りも含めて、ボランティアと有償活動(私も公)のシラブルが分かれるところだろう。好い協力関係を期待する。

最後に、老輩頑なにボランタリーに徹する所存を付け加えて終りとする。

\*シラブル=音節

(みちしるべ 三好日登臣)

小地域ネットワークがスタート

# 支えあう手と手をつくる地域の輪

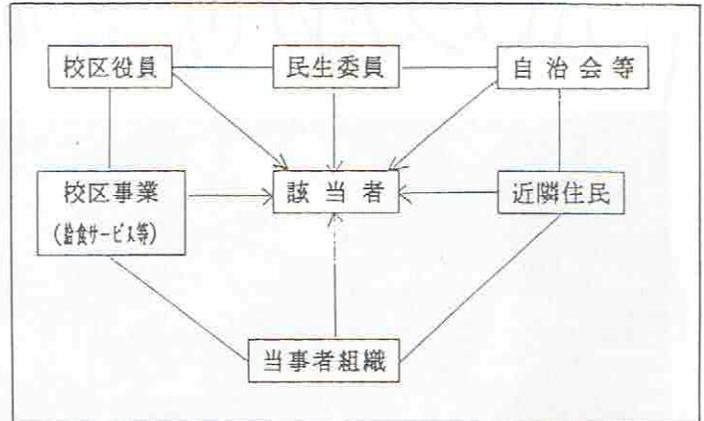
～この秋地域での助け合いがより身近なものになります。～

豊中市社会福祉協議会では、平成4年度より校区福祉委員会でのボランティア育成や助け合いを進めるために「校区ボランティア部会推進事業」を実施して参りました。その結果、現在では38校区中15校区（表1参照）がモデル地区として校区内でのボランティアの需給調整（ボランティアが必要な人と援助できる人を調整する）を進めています。

これらの取り組みで従来、ボランティアセンターに依頼のあった階段昇降のお手伝いやデイサービスの送迎車までの介助、買物、話し相手などの生活に密着した活動を校区福祉委員会で対応できるようになりました。

そして、校区福祉委員会では、個人の福祉課題の解決を進める中で、福祉制度の谷間に気付き、互いの助け合いが広がるとともに、関係機関との連携も進んでいます。一つ一つの事例が福祉をより豊かなものに創っていく手がかりとなっています。

## 見守り・声かけ活動



\* 該当者とは将来個別援助が予想される高齢者や障害者などを示す

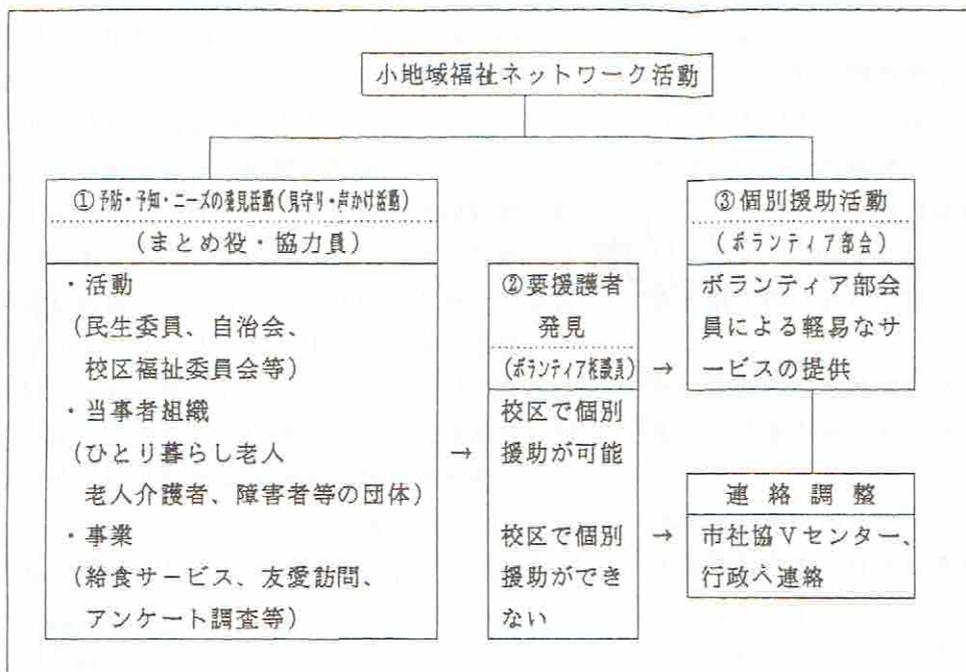
さらに、11月からは、今までの校区福祉委員会の取り組みを体系化した小地域福祉ネットワーク事業を展開し、地域住民の福祉課題の発見から解決までを校区段階で実施していきます。

小地域福祉ネットワークの機能は下記の2つにわけられます。

1. 予防・予知・ニーズの発見活動（見守り・声かけ活動）
2. 個別援助活動



## 小地域ネットワークの体系図



この事業は、地域で助け合いやふれあい活動を推進する取り組みで、校区福祉委員会とボランティアセンターとの連携も強まり、地域での助け合いが、より身近なものになります。



# 活動の事例

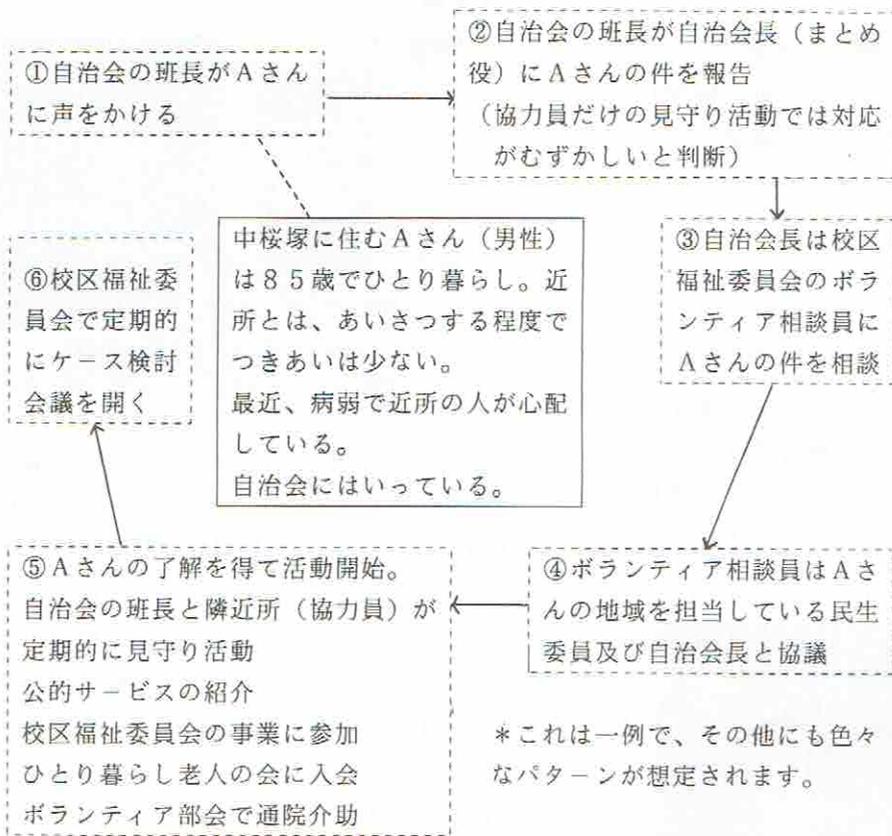
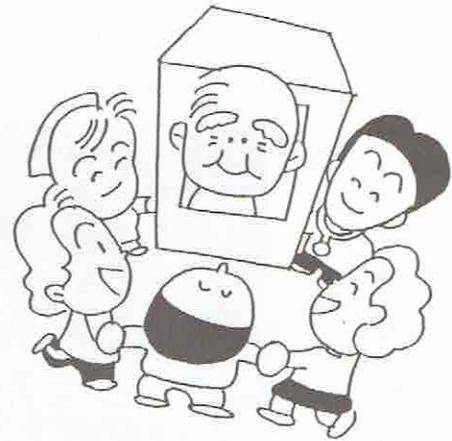


表1

モデル校区	
平成4年度	桜塚・南桜塚
5年度	原田・豊島
6年度	刀根山・中豊島
7年度	西丘・北丘 東豊台
8年度	北条・泉丘 豊島北・庄内南 上新田・堀北



（その他にも個別援助活動としては、買い物、話し相手、薬取り、洗濯もの取りこみなどのサービス提供を行っています。）

## 援助活動の主な内容

話し相手



買物（お使い）



通院・散歩などの付添い



洗濯物の取り込み



薬とり



デイサービスセンター等の送迎車までの送り迎え

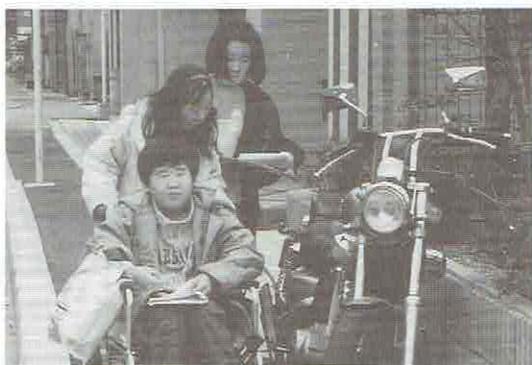


# 芽吹かせよう ボランティアの心

—福祉教育協力校活動—

## 第十八中学校が厚生大臣感謝状受賞

平成元年より協力校として活発な活動を展開している豊中市立第十八中学校（校長 岩崎欽一）が、厚生大臣感謝状を受賞しました。同校では、開校以来続けている刀根山養護学校との交流が、具体的な人権学習と結び付いて障害者問題を理解する大きな機会となったり、また、学校週5日制の行事と連携して実施している延寿会（老人会）との交流が、世代をこえたふれあいの場をつくりだしています。さらに、生徒自ら町に出て車椅子体験等をする中で、その現状を報告書『わがまちウォッチング＝車椅子から蛍池の街をみよう＝』にまとめるなど福祉の町づくりに大きな役割を果たしてきています。



普段暮らしている蛍池の街で車椅子体験

このような福祉教育協力校が、豊中に小学校・26校、中学校・10校あり、これらの様々な活動を通して、子ども達の心に「やさしさ」「いたわり」「行動する勇気」が、育ってきています。

## あつまれ！若い力

—青少年ボランティアグループつぼみ—

市社協登録ボランティアグループ「つぼみ」は高校生や大学生、または昼間お勤めの青少年が中心のグループで、障害を持っている方の外出介助やイベントのお手伝いを中心に活動しています。

また、今年の夏も青少年を対象としたサマーボランティアスクールを市社協と協力しながら「つぼみ」のメンバーが企画・運営し、7月22日から8月29日の間に

4回開催しました。

スクール終了後には、「今後もずっとボランティア活動をやりたい。」「障害をもつ人の気持ちが少しわかりました。」など受講者の感想が寄せられました。これからも、若い力と発想でいろいろなボランティア活動にチャレンジしていきます。



報告する小曾根小学校丸山壽太郎教諭

## 小曾根小学校が全ボラの分科会で活動報告

9月21日、22日に大阪城ホールで開催された『全国ボランティアフェスティバル大阪』の「児童・生徒のボランティア分科会」で、豊中市立小曾根小学校（校長 出本登章）が、小曾根校区福祉委員会（会長 古川勝）とともに「学校と地域でつくる子どものボランティア活動」をテーマに活動報告しました。

平成2年より、協力校として活動を展開している同校では、地域との連携を図りながら、ひとり暮らし老人への「手作り長寿米」のプレゼントや昔遊びの交流会等を通して、地域の高齢者の方々とのふれあいを深めたり、また、空き缶回収と環境マップ作りを通して、環境問題への理解を深めるなど活発な活動を展開しています。



## 全国ボランティアフェスティバルに参加

9月21日、22日に大阪城公園一帯で、全国ボランティアフェスティバルが開催され、豊中からも大勢のボランティアが分科会等に参加しました。

### 分科会に参加して……

～感想・報告～

（ガイドヘルプボランティア分科会）

ガイドヘルプ分科会は岩手から福島まで日本縦断の62名と役員で開催され、啓発、実践、将来の三部門について、豊中、茨木等の各ボランティア代表によって発表があった。「みちしるべ」は、小中学校や校区福祉委員会のアイマスク・車椅子体験学習を中心に情報を展開。児童の作文朗読を竹内、スライド映写を宮里の構成で行い、質問続出、非常に有意義な分科会であった。

（みちしるべ 三好日登臣）

（移送ボランティア分科会）

自費で運営している奈良を除き、豊中とは大同小異で、むしろ豊中は割合スムーズに運営されているのではないかと感じました。対象者の範囲、事故への対応等今後の課題も山積みでしたが、良い勉強になりました。

車椅子の方の参加もありましたが、近代インテリジェントビルのMIDタワーでさえ、車椅子で利用できるトイレが一階に一か所だけとは驚きでした。

（豊中アッシー 石富由美子）

（福祉の町づくりボランティア分科会）

「大阪発！小学校区の『地域社協』』というテーマで分科会がおこなわれた。

「福祉委員会とともに歩んできた市社協」（寝屋川市社協）の発表では地域住民の交流を目的とした「ほほえみ広場」福祉マンガ「あたたか色の街がすき」などの大変ユニークな活動内容の報告があり、社会的弱者に対するあたたかい思いやりの気持ちを育てていかなないと、住んでいてよかったと思える町はできない……という思いにあふれていた。その他に「福祉マップ探検隊」を編成して、町の危険箇所を点検・調査し、市長に要望書を提出するというソフト面からの町づくりについて「『福祉マップ』でまちづくり」（吹田市五月が丘区福祉委員会）の発表があった。

（歌体操さわやか T? T）

（自教具・介護用品製作ボランティア分科会）

門真の方々の作品は、どれもよく考えられていて、デザインもよく素敵だなと感じました。「ビーズマット」や「にぎりっこ」は大変贅沢にできていてビーズをいれ過ぎのようにも感じました。実際に使用するときは、もう少し軽く、体に優しくまた、費用も負担の少ないものが、私たちボランティアの作品なのではないかと思いました。

（小さな手 山口三恵子）

### 《ボランティアはいま》

私がボランティアを始めたきっかけは、私自身がけがをして市社協の家事援助のボランティア（そよかぜ）の方に来ていただいたことです。初めは、遠慮がちだったのが、慣れてくるとついあれもこれもとお願いしてしまう。自分でやってできないことはないけれど、この前してもらったんだから、今日も頼んでいだろうという安易な気持ちで……。

そして今、ボランティアとして、どこまでさせていただいているのかというボランティアなら誰もが経験する悩みにはまっています。喜んでいただけるならできるだけことはし

たいと誰もが思います。でも、依頼された方と長く、良い関わりをもちつづけるためには、あるいは、その方の自立の芽を摘んでしまわないためには、本当はほしくないほうがよい場合もあるかもしれません。

それはまさに、ケースバイケースです。その一つ一つをこなしていきながら、体得するしか答えのないような宿題をもらったような、そんな心境です。

そよかぜ 堀部るみ子

ボランティアレポート=訪問記

箕面の山を背景に、昭和63年に建て替えられた「豊中市・箕面市養護老人ホーム永寿園」を見学しました。

65歳以上で経済的理由、身体・精神上の障害、あるいは、環境上の理由で在宅養護をうけるのが困難な方が入園されており、ショートステイもあります。

外出、外泊も自由で、お元気な方は、掃除や洗濯は自分でなさり、また、地域のゲートボールに参加されたり、趣味のお稽古等で生きがいを見つけ楽しく過ごされています。

明るく綺麗に整頓され、開け放たれた部屋は、昼間はほとんどが留守でした。また、二人一部屋なので、非常の場合は、互いにボタンで寮母室へ連絡することができるので安心です。しかしその一方で人間関係のトラブル等がおこることもあり、寮母さんの対応が待たれます。

食事は、三食その人の体にあった調理のものを食堂でとります。

街に近く、静かな環境のなかで、職員の気配りが行き届いた施設……。在宅養護、施設の充実と相俟って、自分の人生について、皆でもっともっと考えていかねばならないと思いました。

聴くの会 田中 紀子

第4回

豊中ボランティアフェスティバル

日時 平成9年2月23日(日)  
午前10時～午後3時

会場 豊中市民会館

- 内容
- ・パネルディスカッション  
テーマ「人をつなぎ地域を結ぶボランティア」
  - ・講演 テーマ「今日のボランティアを取り巻く動向」
  - ・パネル展示
  - ・車椅子・アイマスク体験コーナー
  - ・手話・点字・対面朗読体験コーナー
  - ・ボランティア相談コーナー
  - ・手作り介護用品展示コーナー

その他にもお茶席・スタンプラリー等多彩な催しを計画中です...

お問い合わせ先 豊中市社会福祉協議会  
☎06(841)9393

ボランティア保険ご案内

保険の種類	ボランティア保険			有償活動保険		子供保険	移送サービス交通傷害保険	ボランティア行事保険
加入対象	ボランティア活動に参加する方			府下・地域を対象として有償活動を行っている団体		地域で活動している子供を中心としたグループ	移送サービスを行っている団体	ボランティア保険に加入できる人やそのグループが主催する行事
料金(円)	Aプラン 300円	Bプラン 500円	Cプラン 2,000円	Aプラン 1,000円	Bプラン 1,500円	200円	420円より	宿泊なし 1人 30円 (50人以上) 宿泊あり 230円より
保険期間	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間 (途中加入の場合、毎月1日、10日、20日から発効)							行事期間中(行事の1週間前までに申込み)

編集後記

今年こそよい年でありますようにと、思いをこめてめくったカレンダーも残り少なくなりました。

充実した活動をされた方、ちょっと不満を残された方、それぞれの思いを抱いていると思います。昨年の阪神・淡路大震災、今年の全国ボランティアフェスティバル開催で熱い思いが盛りあがっております。その思いが静かに力強く長続きするように、願っております。皆の一步一步の輪をつないで。

私達もその小さな一歩になりたいと思っています。どんどん情報をお寄せ下さい。

K. S